

公孫樹

2022年2月発行

第121号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町 1211

TEL 0596 (22) 3726

健康体への再生をめざして

健康な体をとりもどすために、大阪の八尾市にあるクリニックに、火曜日と金曜日を通院します。母親が留守番をしてくれていますが、御用の方は電話にてよろしくお願ひします。携帯に転送されます。施療中の際は、こちらから後でかけ直しさせていただきます。よろしくお願ひします。

“小人さんのお家”



小人さんのお家

西里定一 作

健康状態について、ご心配をおかけしております。いろいろとお声かけをいただき感謝申し上げます。今後の施療の方針を決めましたので、この間の経過と合わせて、皆様に報告させていただきます。どうぞご理解をお願いします。

一昨年三月の脳梗塞発症いらい、定期的に脳神経外科に通院してきました。そこで指摘されてきた病状の一つに心電図と脈拍のことがありました。十二月に入って一度精密検査をしておいた方がいいと、心臓専門病院を受診しました。二十四時間心電図チェックをはじめ、丁寧な検診の結果、一刻も早くカテーテル検査とペースメーカーを入れることを勧められました。脳梗塞の再発防止のためには薬を変えなければならぬと手紙もいただき、年末には強い薬に変えてもらいました。

年が明けてからも逡巡する毎日が続いたのですが、ご縁があつて大阪の八尾市にあるクリニックを紹介していただきました。筋痛症を患っている妻とともに二人で、一月十四日以来、火曜日と金曜日の週二回、通院させてもらっています。

このクリニックの先生の施療は、健康な体へと作り直すことによつて、免疫力を高め、自己治癒力を発揮させてゆく、対処療法的治療ではなく、病気を生んできた根本に切り込んだ治療を進めていくというものです。まず指導していただいたことは生活記録をつけ、食事は三十回以上、よく噛んで味わって食べることでした。

先日は、静脈還流体操を教えてもらいました。ふくらはぎに滞ってしまったる血流の流れを呼吸法に合わせて心臓に戻してやる、いち、に、さん、し、ごーと息を吐いていくと横隔膜が下がる。おなか柔らかいと横隔膜がよく広がる…。これが健康の元…

（一）（二）（三）（四）（五）（六）（七）（八）（九）（十）（十一）（十二）（十三）（十四）（十五）（十六）（十七）（十八）（十九）（二十）（二十一）（二十二）（二十三）（二十四）（二十五）（二十六）（二十七）（二十八）（二十九）（三十）（三十一）（三十二）（三十三）（三十四）（三十五）（三十六）（三十七）（三十八）（三十九）（四十）（四十一）（四十二）（四十三）（四十四）（四十五）（四十六）（四十七）（四十八）（四十九）（五十）（五十一）（五十二）（五十三）（五十四）（五十五）（五十六）（五十七）（五十八）（五十九）（六十）（六十一）（六十二）（六十三）（六十四）（六十五）（六十六）（六十七）（六十八）（六十九）（七十）（七十一）（七十二）（七十三）（七十四）（七十五）（七十六）（七十七）（七十八）（七十九）（八十）（八十一）（八十二）（八十三）（八十四）（八十五）（八十六）（八十七）（八十八）（八十九）（九十）（九十一）（九十二）（九十三）（九十四）（九十五）（九十六）（九十七）（九十八）（九十九）（百）

2月の行事予定



2日(水)	写経 映画会	中止させていただきます
9日(水)	念仏会	中止させていただきます
13日(日)	涅槃会	中止させていただきます
16日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生 男性詠唱隊	中止させていただきます
23日(水)	読経会	中止させていただきます
25日(火)	戦没者慰霊	中止させていただきます
27日(日)	子ども会・ どむならん人形劇	午前11時～ 無料
10日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 参加費1000円
25日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 子ども 無料 大人 500円

慶成院豆知識

⑬

「雪やこんこあられやこんこ、降っては降っては
ずんずん積もる山も野原も綿帽子かぶり枯
れ木残らず花が咲く」

お正月前までは、冬らしい厳しい寒さでし
た。それでも気が付いてみれば春はすぐそばに
来ていました。

「春になれば しがこもつけて どじょっこ
だのふなっこだの 夜があけたとおもうべな」
周りには難しい問題がたくさんあるように思
います。まず自分ができることを精一杯…。

コロナの流行を防ぐためのマナーを守り、
人々が寄り添って生きることの喜びを、春風が
万物をみな育み、育ててくれるように、暖かい
心を持ち、平常心を失わず、ひたむきに乗り越
えていきたいと思えます。

明るく、前向きに、耐えるところは耐えて、
小欲知足、感謝を忘れず、実践あるのみと、自
省の心を失わず、進んでまいりたいと思いま
す。本年もよろしくお願いいたします。総本山
知恩院様の掲示板には「耐える」と掲げられて
いました。耐え抜いて、今年こそは幸せへのス
タートにしたいものです。

(栄子)



浄土宗新聞を無料で お渡しします！！

2月号読みどころ

6ページ… 著者・葉祥明氏に聞く

今こそ心にやすらぎを

絵本作家の葉祥明氏が阿弥陀経の世界を絵本にされた「コールマイネーム」について語っています。

「現代の人は、先人が身近に考えてきた『死』という問題について忘れかけているのではないか…」

「死後の世界は、科学的根拠がないものとして問わないままできている…」

「コールマイネームは、死後の世界、極楽浄土の世界観を絵と文字で表現したものです。」

コールマイネームは、南阿弥陀仏と称えよということ…葉祥明さんは、「私はお念仏の力を信じていて…素晴らしい念仏の教えやお念仏をとこなえる意味を、苦しんでいる人々に説明して広めていかなければと求めてきた」と語っています。

コールマイネーム購入希望の方は申し込んでください。1,540円です。



山茶花を生けて困難に打ち克つ

奥田 悦生

(「知恩」二月号「柳壇」に掲載)

おしらせとおねがい

新型コロナウイルス、「まん延防止等

重点措置」が解除されていても、二月

の慶蔵院行事は中止させていただきます。



映画会・念仏会・写経会・

室・男性詠唱隊・読経会・戦没者慰

霊・涅槃会を中止させていただきます。

住職の健康回復への道のり (一)
クリニックの院長先生が「人生これから」と書いておられました。

- 一、六十にして志をたて
- 一、七十にして事に励み
- 一、八十にして成し遂げ
- 一、九十にして熄や、これぞ人生

慶蔵院の務めを、後継者に引き継いでもらうまでにポツクリと逝ってしまっただけは申し訳ありません。心して養生をしなければなりません。病気の自覚ができていなかっただけで、失体感症だったということ。元氣だと思いついていたものの、実際は、体のいたるところはガタガタになってしまっていたのです。

この身体を、根本治療によって、健康体へと回復させる治療を受けることにしました。健康体を取り戻すことを通して病気を治し、予防をしていくという治療です。痛めた体をいたわりつつ、回復を願って精進努力してまいります。



吾が心
 如來の心によりて
 靈化し
 の心に清まり
 の心の上に
 神意開顯
 せんことと
 中野善英上人

一月二十七日、立川市民会館で「横井久美子追悼のつどい」が行われました。全国へのライブ配信と合わせてネパールのサチコール村からの配信やベトナム留学生とのラインによるメッセージも届きました。

第一部「横井さんの人生を振り返る」第二部「横井久美子さんを語る」第三部「横井久美子さんと共に歩き出すミュージシャン・合唱団の皆さんの演奏」と三時間をこえる素晴らしい集いとなりました。

横井さんがボーチエアンジェリカを退団してギター一つで函館に旅立った一九六九年、私がちょうど上京した年でもありました。結婚して長女が生まれて、歩き出したころ、一九八二年、伊勢で初めて横井さんのコンサートに妻と二人で参加しました。バッハホールです。その後、伊勢や鳥羽での春秋楽座に参加し、やがて慶蔵院でも開催されることになりました。伊勢と松阪で五百名コンサートを企画したこともありました。

二〇〇七年、ベトナムツアーに参加し、リエン日本語学校の子供たちと出会い、これがスカラシップの会誕生の機縁となりました。二〇一一年六月、一期生四名が「てらこや塾」に來日、横井さんはお迎えにもお見送りにも来てくださいました。またこの年の十二月には、ネパールのサチコール村、絵本文庫でのコンサートを実現、ネパール支援の道を開いていかれました。

私が「健康体」を回復させることにより病気を治す治療方法を選択した日、一月十四日は、偶然にも、ちょうど一年前に横井さんが逝かれた日、祥月命日でした。横井さんの遺志を受け継ぎ「神意開顯せんことを」。